

首相、重要なポストに任命

杉田氏、差別発言正当化

自民党的杉田水脈衆院議員は27日、ユーチューブの投稿動画で、性的少數者、女性、特定民族への差別だと批判された過去の自身の発言について「差別がなくなっては困る人たちとたたかってきた。私は差別をしていない」と正当化しました。

札幌法務局は9月、杉田氏のアイヌの人たちなどを侮蔑したブログへの投稿が「人権侵犯」にあたると認定。大阪法務局も今月、杉田氏が在日コリアンに対する差別的な投稿をしたとして

て、「人権侵犯」だと認定しました。国の機関から人権を侵したと指摘された事態は、国会議員としての資質に關わる大問題です。

杉田氏による人権侵害や差別的な言動は数多くあるにもかかわらず、自民党総務会は9月29日、杉田氏を環境部会議代理に起用することを決定しました。杉田氏の「人権侵犯」発言を犯罪し、重要なポストに据えられた自民党的人権意識の欠如とともに、岸田文雄首相（自民党総裁）の責任が厳しく問われます。